

小平市第二次環境基本計画 環境施策の令和元年度実施状況

令和2年9月
小平市

1 小平市第二次環境基本計画の概要

(1) 計画の位置づけ

本計画は、小平市環境基本条例第 7 条に基づき策定したものであり、小平市第三次長期総合計画に掲げる将来都市像の実現に向けた部門計画として、総合的・計画的に環境施策の具体的な取組を推進するための計画です。

(2) 対象とする環境の範囲

本計画における環境の範囲は、「地球環境(地球温暖化、省エネルギー、創エネルギー、資源循環など)」、「自然環境(水辺環境、生態系、緑地、農地など)」、「都市環境(公園、景観、環境美化、交通など)」、「生活環境(大気、水質、騒音・振動、悪臭、放射線など)」と「参加と協働(環境教育、環境学習、パートナーシップなど)」としています。

(3) 計画の主体

環境問題は主に私たち人間の活動と密接な関係を持っています。したがって、その解決には、私たち一人ひとりが日常生活や事業活動において、主体的、積極的に環境に配慮した行動をとることが必要です。市民、事業者、民間団体、市が主体となってそれぞれの役割を担い、相互に連携・協働を図りながら、計画を推進します。

(4) 計画期間

本計画の期間は、平成 24(2012)年度から令和 3(2021)年度までの 10 年間としていましたが、小平市地域エネルギービジョン及び第二次エコダイラ・オフィス計画の計画期間が令和 2(2020)年度までであることを踏まえ、1 年前倒して令和 2(2020)年度までにすることとしています。

1 年目 H24	2 年目 H25	3 年目 H26	4 年目 H27	5 年目 H28	6 年目 H29	7 年目 H30	8 年目 R1	9 年目 R2	(10 年目) R3
-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	------------	------------	---------------

次期計画
スタート

(5) 進行管理

本計画に定める環境施策の取組を着実に推進していくため、「(6) 施策の体系」で示すとおり、各施策の方向に基づき設定した合計 142 の取組について実施状況を点検します。

その際、本計画において、重点施策に位置付けられている取組、または、数値目標が設定されている取組については、「2 令和元年度実施状況」の中で「(1) 重点施策及び数値目標」として抜き出し、進捗状況の特筆するとともに、「(3) 市の環境施策の取組状況」の表の内容欄に【重点施策】、【数値目標】と示しています。

(6) 施策の体系

めざす環境像【循環・調和・協働の「わ」を大切に みんなで気持ちよく暮らせるまち こだいら】			
基本目標	施策の方向	環境施策	取組数
Ⅰ【地球環境】 地球にやさしい暮らし 方をめざすまち こだいら	1 低炭素社会の形成	省エネルギーの推進	6
		新エネルギーの導入促進	3
		環境に配慮した自動車利用の促進	5
	2 循環型社会の形成	廃棄物の減量	13
		廃棄物の適正な処理の推進	4
Ⅱ【自然環境】 水と緑を守り自然と調 和したまち こだいら	1 水辺環境の整備	用水路の保全・整備	4
	2 緑の保全・回復・創出	緑のネットワークの形成	7
		民有地の緑化	3
		公共施設の緑化	2
		農地の保全と活用	7
		公園・緑地の整備	4
	3 生き物との共生	生き物の生息空間の保全・創出	8
Ⅲ【都市環境】 安全で快適な環境を 実現するまち こだいら	1 安全な都市空間の整備	道路ネットワークの整備の推進	1
		歩行者空間の整備	6
		防災対策の推進	5
	2 美しいまちの創造	景観の保全・形成	3
		環境美化の推進	9
	3 環境に配慮したまちづくりの推進	都市整備における環境配慮	5
		公共交通機関の利用促進	2
水循環の促進	4		
Ⅳ【生活環境】 健康で安心して暮ら せるまち こだいら	1 公害対策	都市型公害対策の推進	6
		環境中の放射性物質に関する状況把握と適切な対処	1
	2 生活環境の保全	生活型公害・苦情等対策の推進	5
	3 化学物質対策	化学物質対策の推進	3
Ⅴ【参加と協働】 みんなが環境につい て考え、行動するまち こだいら	1 環境教育・環境学習の充実	学校における環境教育・環境学習の充実	4
		あらゆる主体・世代に対する環境学習の充実	9
	2 市民・事業者・民間団体・市の パートナーシップの形成	環境保全活動の推進	5
		パートナーシップの形成と連携の充実	5
	3 環境に関する情報の充実	環境情報の収集と提供の充実	3
		合計	142

2 令和元年度実施状況

(1) 重点施策及び数値目標

課題1 二酸化炭素排出量の削減に向けて

重点施策1 「太陽光発電設備などの新エネルギー機器設置費用の助成の継続」		【担当課】 環境政策課																											
<p>■ 取組内容</p> <p>太陽光発電設備、家庭用燃料電池(エネファーム)設置者に対し、設置費用の一部を助成しました。</p> <p>■ 新エネルギー機器設置費用の助成実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成 29 年度</th> <th>平成 30 年度</th> <th>令和元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>太陽光発電システム</td> <td>67 件</td> <td>54 件</td> <td>56 件</td> </tr> <tr> <td>エネファーム</td> <td>181 件</td> <td>154 件</td> <td>145 件</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>248 件</td> <td>208 件</td> <td>201 件</td> </tr> </tbody> </table> <p>■ 数値目標</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>目標年度</th> <th>目標数値</th> <th>令和元年度 実績</th> <th>達成率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市民・事業所等への太陽光発電システム機器設置費用の助成件数</td> <td>令和 3 年度</td> <td>累計 2,000 件</td> <td>累計 1,275 件</td> <td>63.8%</td> </tr> </tbody> </table> <p>■ 今後の方向性</p> <p>引き続き、市民・事業者に対して、太陽光発電システム及びエネファームを設置する際の費用の一部を助成することによりその設置を推進し、家庭部門・業務部門でのエネルギー消費量の削減を図ります。</p>					平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	太陽光発電システム	67 件	54 件	56 件	エネファーム	181 件	154 件	145 件	合計	248 件	208 件	201 件	内容	目標年度	目標数値	令和元年度 実績	達成率	市民・事業所等への太陽光発電システム機器設置費用の助成件数	令和 3 年度	累計 2,000 件	累計 1,275 件	63.8%
	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度																										
太陽光発電システム	67 件	54 件	56 件																										
エネファーム	181 件	154 件	145 件																										
合計	248 件	208 件	201 件																										
内容	目標年度	目標数値	令和元年度 実績	達成率																									
市民・事業所等への太陽光発電システム機器設置費用の助成件数	令和 3 年度	累計 2,000 件	累計 1,275 件	63.8%																									

重点施策2 「自転車専用レーンの設置及び拡大の検討」		【担当課】 交通対策課							
<p>■ 取組内容</p> <p>あかしあ通りの小平駅南口交差点から仲町交差点までの自転車走行空間(延長 591.3 メートル、幅 1.5 メートル)の延伸について、関係機関との協議を検討中です。自転車ナビマークの整備については、交通管理者と連携しながら整備を進めました。</p> <p>■ 自転車ナビマーク整備距離(総延長)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>平成 29 年度</th> <th>平成 30 年度</th> <th>令和元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8,000m(37,200m)</td> <td>3,050m(40,250m)</td> <td>6,410m(46,660m)</td> </tr> </tbody> </table> <p>■ 今後の方向性</p> <p>自転車専用レーンについては、様々な課題から実施が困難な状況ですが、これに代わるものとして、自転車ナビマークの整備の推進などにより、自転車利用を促進し、自動車による二酸化炭素排出量を削減します。</p>				平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	8,000m(37,200m)	3,050m(40,250m)	6,410m(46,660m)
平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度							
8,000m(37,200m)	3,050m(40,250m)	6,410m(46,660m)							

重点施策3 「環境家計簿の普及を図るなど、家庭における省エネルギーの取組を促進」	【担当課】 環境政策課																										
<p>■取組内容</p> <p>市民団体エコダイラネットワークと協働して、各種イベントでアプリ版環境家計簿を中心に利用を呼び掛けるとともに、市報、市ホームページで周知し、普及啓発に努めました。</p> <p>また、令和元年7～12月の6か月を「チャレンジ省エネ 2019 in こだいら」期間として設定し、電気・ガスの使用によるCO₂排出量を前年同月期間より削減することを目標に、環境家計簿参加者に省エネに取り組んでいただきました。40世帯が目標を達成し、4.6t-CO₂を削減することができました。本取組は、「東京2020大会における市民によるCO₂削減・吸収活動」に登録しており、東京2020大会組織委員会に活動成果を報告しました。</p> <p>■環境家計簿参加者実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>個人世帯</td> <td>1,527世帯</td> <td>1,721世帯</td> <td>1,999世帯</td> </tr> <tr> <td>事業所</td> <td>9事業所</td> <td>11事業所</td> <td>11事業所</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,536件</td> <td>1,732件</td> <td>2,010件</td> </tr> </tbody> </table> <p>■数値目標</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>目標年度</th> <th>目標数値</th> <th>令和元年度実績</th> <th>達成率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>環境家計簿の利用件数</td> <td>令和3年度</td> <td>1,000件/年</td> <td>2,010件/年</td> <td>201.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>■今後の方向性</p> <p>各種イベントや市報、市ホームページ等により、環境家計簿の普及啓発に努め、様々な世代による参加者の拡大を図ります。環境家計簿の活用によって自らのライフスタイル、ビジネススタイルを再点検し、家庭生活及び事業活動に伴って生じる二酸化炭素排出量の削減につなげます。</p>			平成29年度	平成30年度	令和元年度	個人世帯	1,527世帯	1,721世帯	1,999世帯	事業所	9事業所	11事業所	11事業所	合計	1,536件	1,732件	2,010件	内容	目標年度	目標数値	令和元年度実績	達成率	環境家計簿の利用件数	令和3年度	1,000件/年	2,010件/年	201.0%
	平成29年度	平成30年度	令和元年度																								
個人世帯	1,527世帯	1,721世帯	1,999世帯																								
事業所	9事業所	11事業所	11事業所																								
合計	1,536件	1,732件	2,010件																								
内容	目標年度	目標数値	令和元年度実績	達成率																							
環境家計簿の利用件数	令和3年度	1,000件/年	2,010件/年	201.0%																							

<重点施策以外の数値目標等>

項目	目標年度	目標	実績		達成率
			平成30年度	令和元年度	
二酸化炭素排出量 (市全体) ※注1	令和2年度	492,286t-CO ₂ (平成17年度比25%削減) (17年度656,381t-CO ₂)	527,330t-CO ₂ (平成28年度)	522,279t-CO ₂ (平成29年度)	81.7%
二酸化炭素排出量 (市事務事業) ※注2	令和2年度	6,161,756 kg-CO ₂ (平成17年度比25%削減) (17年度8,227,316 kg-CO ₂)	7,401,376 kg-CO ₂	7,356,403 kg-CO ₂	42.2%
庁用車の低公害車・低燃費車の導入率	令和3年度	100%	87.9%	89.9%	89.9%

※注1：市全体の二酸化炭素の排出量は、オール東京62市区町村共同事業により算出。電気の二酸化炭素排出係数は、二酸化炭素排出量算定時の都内全電源の排出係数を使用。平成29年度の排出係数0.471 kg-CO₂/kWh。

※注2：電気の二酸化炭素排出係数は、基準年度(平成17年度)の排出係数で固定。平成17年度の排出係数は0.374 kg-CO₂/kWh。

課題2 水と緑のネットワークづくりに向けて

重点施策4 「市民ボランティアによる花いっぱい運動の推進」	【担当課】 水と緑と公園課																
<p>■ 取組内容</p> <p>市内における花いっぱい運動のさらなる普及と、市民の緑化意識の向上を図るとともに、市民が主体となった“緑豊かなまちづくり”を推進することを目的として「こだいら花いっぱいプロジェクト」を実施しました。小平駅前、公園及び用水路の親水エリアの緑化を行い、市民ボランティアによる花いっぱい運動を進めました。</p> <p>■ こだいら花いっぱいプロジェクト活動実績</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;"></th> <th style="width: 20%;">平成 29 年度</th> <th style="width: 20%;">平成 30 年度</th> <th style="width: 20%;">令和元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>活動回数</td> <td>10 回</td> <td>10 回</td> <td>10 回</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>340 名</td> <td>380 名</td> <td>370 名</td> </tr> <tr> <td>植栽数</td> <td>13,400 苗</td> <td>13,620 苗</td> <td>12,380 苗</td> </tr> </tbody> </table> <p>■ 今後の方向性</p> <p>市民、企業、団体との協力関係を維持し、「こだいら 花いっぱい プロジェクト」を継続することで、市民一人ひとりの緑化意識の向上を図ります。</p>			平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	活動回数	10 回	10 回	10 回	参加者数	340 名	380 名	370 名	植栽数	13,400 苗	13,620 苗	12,380 苗
	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度														
活動回数	10 回	10 回	10 回														
参加者数	340 名	380 名	370 名														
植栽数	13,400 苗	13,620 苗	12,380 苗														

重点施策5 「小平グリーンロードを南北につなぐ新たなみどりの骨格づくり」	【担当課】 水と緑と公園課 道路課
<p>■ 取組内容</p> <p>あかしあ通りグリーンロード化基本計画に基づき、小平駅南口ロータリー植栽部の花苗の植替えを 2 回(春、秋)行いました。また、あかしあ通りに植栽されているニセアカシアのうち、老朽化が著しいもの、根上がりの原因となっているもの及び台風の影響により倒木・幹折れした 10 本について陽光桜に植え替えました。</p> <p>■ 今後の方向性</p> <p>引き続き、小平駅南口ロータリー植栽部の花苗の植替えを行うとともに、あかしあ通りの街路樹に関する基本的な考え方に基づき、街路樹の検討及び整備を推進し、みどりの創出に努めます。</p>	

重点施策6 「動植物の生態調査の実施」	【担当課】 水と緑と公園課 環境政策課
----------------------------	------------------------------------

■取組内容

市民ボランティアの雑木林調査隊 18 名及び学識経験者の森のカルテづくりアドバイザー 2 名により、平成 29 年度から平成 30 年度にかけて実施した、小川町一丁目の市有樹林での植物や昆虫等の調査結果を、「森のカルテ 小川町一丁目市有樹林編」としてまとめ、市民に広く発信しました。

また、市民が自宅の庭先やマンションのベランダなどで、生き物の新たな生息空間としてのビオトープを創出できるよう、平成 29 年度から平成 30 年度にかけて、公募市民等へ小鳥などが好む苗木を配布し、令和元年度は観察モニターとして観察してもらいました。

そのほか、市全域を対象に市民から生き物の目撃情報を募集し、お寄せいただいた情報等を基に「こだいら生き物マップ」を作成しました。

■身近なビオトープづくり参加実績

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
苗配布数	92 株	80 株	0 株※
観察モニター報告数	8 件	20 件	0 件※

※令和元年度を観察期間、令和 2 年度を報告期間としたため、配布数及び報告数が 0 となっている。

■今後の方向性

これまで進めてきた「森のカルテづくり」、「身近なビオトープづくり」、「市民参加型生き物調査」等の結果を次期環境基本計画に包含する生物多様性地域戦略や次期みどりの基本計画の策定に活かします。

<重点施策以外の数値目標等>

項目	目標年度	目標	実績		達成率
			平成 30 年度	令和元年度	
公園いきいきリニューアル	令和元年度	10 公園	1 公園 (累計 14 公園)	1 公園 (累計 15 公園)	150%
オープンガーデンの開設	令和 3 年度	30 か所	26 か所	26 か所	86.7%
生垣造成補助	継続して実施		9 件 140.9m	8 件 112.6m	—

(2) 令和元年度実施状況に対する環境審議会の意見等

令和2年8月3日(月)に開催された小平市環境審議会において、次のようなご意見等をいただきました。

《ご意見等》

《市の対応策》